

Spot Writer

Activate communication create a Positive organization

Spotwrite 基本情報

Index

Spotwriteによる「ポテンシャル最大化」

P.01-02

離職コストの削減 / 優秀な人材の表面化・離職の防止 / 内定辞退対策
経営陣と社員の信頼関係構築 / 仕事のスピードが上がる /
どんな働き方でも変わらない帰属意識

機能紹介

P.03

- ・ポジティブな情報をみんなに共有
- ・メッセージやファイル共有機能でテレワークも活性化
- ・利用状況の可視化

よくあるご質問

P.04

導入の際によくあるご質問をまとめました

導入までの流れ

P.05

簡単な3ステップでご利用可能

会社概要

P.06

Spotwriteによる「ポテンシャル最大化」

心理的安全性・エンゲージメント確保による6つの効果

for Solution

離職コストの削減

生産労働人口(15~65歳)は20年間で1000万人も減少していく、

労働力不足は、今後も解決の見通しがつかない社会課題です。

企業の採用費は増大する一方で、離職を防ぐための施策はまだ少ないので現状です。

これを解決するためには、最近注目されている「離職コスト」を考える必要があります。

例えば年収300万円の新卒社員が1年で離職した場合、新たな採用コストに60万円、

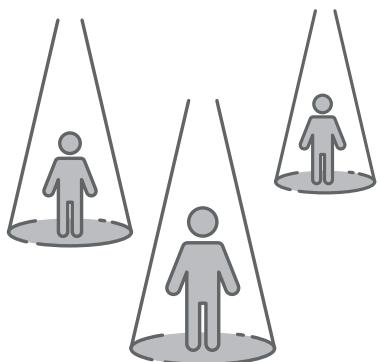
人材の育成に改めて給与300万円、これに人事の作業コストをプラスすると、

1人の離職を穴埋めするために360万円以上の追加コストがかかることになります。

つまり「離職コスト」は採用費の4~5倍にもなるのです。

Spotwriteでは、企業内に心理的安全性を定着させることで、離職率が改善し、

企業の「離職コスト」の削減を実現、人材採用への投資効果を最大化します。



for Connection

内定辞退対策

優秀な人材に内定を出すだけではグリップが弱く、実際の入社率は

60%と言われています。入社までの長い期間に不安になったり、

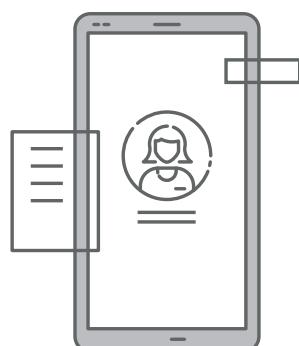
他の企業に目移りしてしまうのが現状です。

Spotwriteでは、入社前の内定者にアカウントを発行することで、
入社まで期間が空いてもコミュニケーションが途切れません。

入社前に会社の雰囲気や人を知ることができ、安心して

内定期間を過ごすことが出来ます。そして内定辞職対策だけでなく、

組織図や社内制度も理解できるため、即戦力として期待できます。



for Relationship

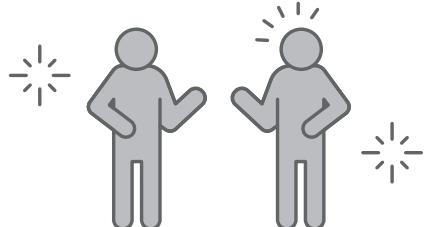
経営陣と社員の信頼関係構築

組織が大きくなってくると、経営陣との接点が少なくなりがちです。もともとは経営陣の熱い想いや、会社の考え方をワクワクして入社した社員も、だんだん会社のことが分からなくなりモチベーションが下がってしまいます。Spotwriteでは、会社の取り組みや経営陣の熱い想いがタイムリーに伝わります。社員は会社の魅力を再認識しエンゲージメントの高い状態になり、ワクワクしながら自主性を持って業務に取り組める強い組織になります。



for Productivity

仕事のスピードが上がる

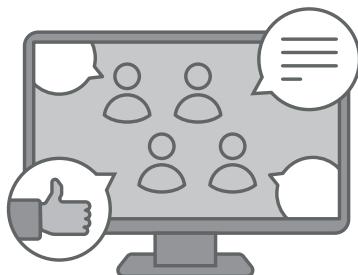


お互いを理解せず、心理的安全性が生まれていない状況では、意見を言うと「評価が落ちるのでは?」「叱咤されるのでは?」などと考えがちで本音でディスカッションが出来ません。Spotwriteでは、心理的安全性を浸透させることで意見を言いやすい安心感を生み、エンゲージメントが高まることで自己保身ではなく会社のための本音の意見が出てきます。現場からの声が素直に上がってきたり、新しいアイデアが提言されるなど、会社をよくするための行動が活性化していきます。

for Loyalty

どんな働き方でも変わらない帰属意識

同じ空間で顔の見えるコミュニケーションは大切ですが、テレワーク、派遣や出向、副業など働き方が多様化する中では働く人がいつも一緒にいる訳ではありません。Spotwriteの中で経営層の考えや部署の方針など会社の情報と、社員個人個人の声がタイムリーに共有される事で、離れた場所にいる社員にも組織への帰属意識をもたらします。



機能紹介

Spotwriteには、従業員のエンゲージメントを高め、利用状況を可視化してコミュニケーションを育てる様々な機能をご用意しています。



ポジティブな情報をみんなに共有

写真で見る組織図、隣の部署の詳しい紹介、あまり話したことのない人のプロフィールやQ&Aまで、会社の情報が全て見れます。会社への理解が深まり、安心感が生まれる機能を揃えました。

 組織図・部署紹介	 プロフィール	 コミュニティ (作成・詳細)
 記事投稿 (タイムライン表示)	 記事テーマ設定	 イベント (開催・共有)
 インタビュー機能	 ありがとう記事	 社員PICK UP



メッセージやファイル共有機能でテレワークも活性化

社内報だけではなく、メッセージを送りあえる「フリートーク」機能と社内ファイル共有機能を搭載。テレワークにも対応できます。メッセージはリアルタイムに自動翻訳され、国境を越えたコミュニケーションが可能です。

 「フリートーク」	 社内ファイル共有	 自動翻訳
 在籍掲示板	 アンケート機能	



利用状況の可視化

Spotwriteをより効果的に使っていくために、利用状況をグラフや一覧で表示。会社全体の活性度をつかんだり、個人のマイページでも利用状況が確認でき、変化に気付きやすくなります。

 セルフ活用状況チェック	 利用度チェック	 モチベーション チェック
--	--	---

よくあるご質問

導入の際によくあるご質問をまとめました。

掲載以外のご質問はお気軽にお問い合わせください。

Q

投稿することに慣れていないメンバーにどのように説明をしたらいいですか？

A

Spotwriteで皆さんにして欲しいのは「自己紹介」です。この自己開示の重要性は見落とされがちですが、投稿は自分のアピールのためではなく、周りの人に自分を分かってもらい、お互いにスムーズに働く環境を作っていくためのものです。自分をアピールすることが投稿の目的だと思うと、恥ずかしいと感じたりプレッシャーになってしまふ人がいます。あくまで周りの人そのための自己紹介だと伝えると、自然とリラックスして投稿できるようになります。

Q

導入した後、投稿を活性化させるにはどうしたらいいですか？

A

「自由に書いていいですよ」と言われると、慣れていない人は恥ずかしく、勇気もいるものです。そのため、会社側があえてルールを作って投稿しやすい状況を作るのが重要です。ルールというと一見強制のようで抵抗感があるかもしれません、実は逆で、「会社の決まりだから」「アラートが来たから」という状況の方が、投稿への心理的なハードルが下がり投稿がしやすくなります。Spotwriteではアラートやテーマを設定することが出来るので、会社から皆さんへと簡単にルールを知らせることができます。

Q

登録や更新は大変ですか？

A

初期登録の時だけ、100人規模の会社で約1~2時間程度の時間がかかります。ただ名前やメールアドレスなど最低限の情報を表でまとめて登録できるので、作業自体は難しくありません。分かりやすいチュートリアルもご用意しています。その後は管理画面で手軽に変更ができるので、スムーズに運用できます。人数が多い場合はこちらで初期登録をサポートしますので、ご安心ください。

Q

不適切な投稿への対策はありますか？

A

Spotwriteは業務用ツールではなくポジティブな情報を集める社内報のため、不適切な投稿がされにくいサービスですが、万が一不適切な投稿がされた場合は管理者側で削除や非表示にできます。ユーザー側には特定の相手をブロックする機能もあります。本来の意図に合わない使い方には対処できる機能がありますので、安心してご利用いただけます。

導入までの流れ

どうやって設定すればいいの？使い方は？ 導入時の疑問を徹底サポートしつつ、安心してサービスをご利用いただけるSTEPをご用意しています。

step 1

まずはお問合せ

まずはお問合せいただき、担当者から返答します。
15人以下であれば、すぐに無料で利用開始。
納得いくまで操作できます。



step 2

トライアル開始

実際の画面を見ながら担当者が
オンラインにて使い方をご説明します。
導入後の運用をイメージしながら
テスト利用していただけます。



step 3

本導入

メンバーを登録し、アカウントを発行してご利用開始。
チュートリアルをご用意していますので、
スムーズに導入できます。
社員数の多い企業様には登録サポートプランもございます。



まずは
お問合せ！

パソコンはこちらで検索

Spotwrite 社内報

検索



QRコードからも可能です

Spotwriteの
全額返金 保証

60日間利用して 効果がなければ全額返金！
気軽に試していただけます

会社概要

会社名	株式会社Spotwrite
設立	令和3年10月14日
事業内容	Spotwriteの開発・運営
資本金	1000万円
所在地	東京都中央区晴海3-13-1 ドウ・トゥールEASTタワー4620
代表取締役	杉浦克海



安心して使っていただけるセキュリティ



エンタープライズ領域で利用されているサーバー「Amazon WebService」を利用しています。



ISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準会議)が共同で定めた、情報セキュリティの管理に関する国際規格ISMS認証を取得(2019年1月予定)。社員は規格に定められた厳格な情報セキュリティの取り扱いルールを遵守し、情報・プライバシーの保護に努めます。